



### 3. 計画の推進に向けて

#### (1) 推進プログラム

施策内容を計画的かつ着実に推進するためには、取り組みの「主体（誰が）」、「時期（いつ）」を明確にする必要があります。そのため、施策内容についての推進プログラムをp 20～28 に示します。

##### <推進プログラムの見方>

原則として見開き 1 頁に整理された推進プログラムは、以下に示すように、①基本方針、②施策内容、③取り組む時期、④取り組みの主体等からなっている。

①基本方針→	1. <b>遊び学ぶ 《「ア」のくにつくり》～豊かな自然環境と粟国文化を体感する～</b>			
	施策内容	取り組む時期 (平成 24～33 年度)		取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う
		今すぐ(1～2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの
②施策内容→	1-1 島の魅力基盤を維持・保全する			
	①粟国の魅力について村民が気づく機会づくり	子どもたちへの農業・漁業体験の充実	実施・充実	拡充
		(仮)子ども探検倶楽部の創設	創設	充実
		村民向け各種講座教室等の開催	実施・充実	拡充
				◇ ◎ ○ ◎ (経)
				○ ○ ○ ◎ (教)
				◇ ◇ ◎ ◎ (教)
			↑③取り組む時期	↑④取り組みの主体等

#### ①基本方針

基本方針（p 11）について示している。

#### ②施策内容

基本方針に沿った観光振興の施策内容（p 14～18）を示している。

#### ③取り組む時期

平成 24～33 年度の 10 年間の期間において、施策内容ごとに「今すぐ（1～2 年）取り組むもの」、「5 年以内に取り組むもの」、「10 年以内に取り組むもの」の 3 つに分けて定めている。

#### ④取り組みの主体等

施策内容ごとに取り組みの主体を「村民」、「事業者」、「観光協会」、「粟国村」の 4 つに分けて示している。また、施策内容ごとに関わる主体を「◎中心的に担う」、「○サブ的に担う」、「◇ともに担う」を定めている。なお、施策内容の主体の 4 区分は以下の通りである。

村民	村民、子どもたち、地域（字、原・組） 地域活動関連団体：子ども会、PTA、女性連合会、青年会、老人クラブ など
事業者	観光関連：民宿、ダイビングショップ、食堂・カラオケ店等 経済活動関連団体：生活研究会、塩工場、JA 粟国、漁業組合、農業者・漁業者 など
観光協会	粟国村観光協会
粟国村	経済課、総務課、船舶課、民生課、教育委員会 など

3. 計画の推進に向けて

1. 遊び学ぶ 《「ア」のくにづくり》～豊かな自然環境と栗国文化を体感する～

施策内容		取り組む時期 (平成 24～33 年度)			取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う			
		今すぐ(1~2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの	村民	事業者	観光協会	栗国村
<b>1-1 島の魅力基盤を維持・保全する</b>								
①栗国の魅力について村民が気づく機会づくり	子どもたちへの農業・漁業体験の充実	実施・充実	拡充		◇	◎	○	◎(経)
	(仮)子ども探検倶楽部の創設	創設	充実	拡充	○	○	○	◎(教)
	村民向け各種講座教室等の開催	実施・充実	拡充		◇	◇	◎	◎(教)
②無秩序な土地開発の規制と望ましい方針づくり	農業振興地域整備計画	地域指定	運用	点検・見直し	◇	◇	—	◎(経)
	環境保護・鳥獣保護等の条例づくり		制定	運用	◇	—	◇	◎(民)
	望ましい土地利用計画づくり			計画策定	◇	—	—	◎(総)
③栗国らしい景観の保全・育成指針づくり	景観計画策定・条例制定等		計画策定	条例制定・運用	◇	—	—	◎(経)
<b>1-2 島の魅力を伸ばす風景づくりを進める</b>								
①観光スポットや観光コース等の整備	自生植物(テッポウユリ)等の魅力スポットづくり	美化活動の実施・拡充			◎	◇	○	○
	観光ポイント・コースの整備	実施(適宜) (マハナの東屋等) (ヤマトウグーの安全対策等) (ポージャー遊歩道の整備等)			—	—	○	◎(経)
②村民との協働による集落風景づくり活動の促進	道路沿いの草花による美化活動やあたいぐあーづくり	美化活動等の実施・拡充			◎	—	○	—
	フクギ並木や石積(石垣)、古民家の保全・修復・修景の支援	準備(計画)	支援等の実施		◇	—	○	◎(経)
③来島者も村民も共に参加して新たな風景づくり活動の促進	遊休農地を活用した見所づくり(ひまわり畑・ロード等の創出)	準備(計画)	実施	拡充	◇	◎	—	◎(経)
	ソテツ山の再生、記念樹(15の旅立ちの子どもたちや結婚記念等)による観光地の緑地づくり	準備(計画)	実施	拡充	◇	—	○	◎

施策内容	取り組む時期 (平成 24～33 年度)			取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う				
	今すぐ(1~2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの	村民	事業者	観光協会	栗国村	
<b>1-3 島の魅力を活かした体験メニューを拡充する</b>								
①観光メニューの充実及び開発・研究の促進	既存の観光メニューの充実 (クラフト体験、集落散策、 星空観察、料理体験等)	既存観光メニューの充実			◇	◇	◎	—
	新たな観光メニューの開発・ 研究(生活文化・料理体験、 島一周遊覧船ツアー等)	準備	観光メニューの開発・研究 (生活文化・料理体験、島一周遊覧船ツアー等)		◇	◇	◎	◎ (経)
	島のまつりやむんじゅる節を 活かした観光イベントの企画・ 開催	企画・立案	実施・開催	強化	◇	◇	◎	◎
②定期的な来訪者の満足・不満足の内容の調査及び関係事業所等への還元	定期的な来訪者アンケート調査の実施、事業者等への情報の還元	2~3年に1度の来訪者アンケート調査の実施 事業者等への情報の還元、改善策の検討			—	◇	◎	◇
③新たな観光メニュー創出のしくみづくり(企画・公募のしくみ)	島内外から観光プログラムを広く公募する「(仮称)島旅企画コンペ」の実施	「(仮称)島旅企画コンペ」の実施 事業計画等への反映			◇	◇	◇	◎



photo by M.shikata

3. 計画の推進に向けて

2. 味わい祈る 《「ア」のくにづくり》～こだわりの海の幸、大地の幸を味わう～

施策内容		取り組む時期 (平成 24～33 年度)			取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う			
		今すぐ(1~2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの	村民	事業者	観光協会	栗国村
<b>2-1 地産地消を推進する</b>								
①地域生産・加工の充実及び生産組織の強化	漁業組合の強化や漁家の後継者育成等、漁業の経営安定化	← 実施 →			—	◎	—	◎ (経)
	農産物生産の促進と農産品加工技術の向上	← 準備 →	← 実施 →		—	◎	—	◎ (経)
	加工食品の研究・開発の促進	← 実施 →		← 継続 →	—	◎	◇	○ (経)
② 島内の加工・販売の流通体制の強化	地産地消にこだわった原材料供給体制や加工体制の強化	← 準備 →	← 実施 →		—	◎	—	○ (経)
	栗国産の食材や加工食材等の島内流通のしくみ強化	← 実施 →			—	◎	—	○ (経)
③栗国産にこだわった「食」(海の幸、大地の幸)の促進	民宿・食堂等に栗国産の食材を利用したメニュー提供の普及促進	← 準備 →	← 実施 →	← 継続 →	◇	◎	○	◇ (経)
<b>2-2 栗国産にこだわった「食」(海の幸、大地の幸)を調査・開発し、島内に普及する</b>								
①栗国島にこだわった「食」の調査・開発	島の野草調査の実施	← 調査実施 →	← 継続 →		◇	○	○	◎ (経)
	野草等地元食材を使った食のメニューの研究・開発	← 準備 →	← 実施 →	← 継続 →	◇	◎	○	◎ (経)
②栗国島の食材を使った料理レシピ情報誌づくり	島の食材を使った料理レシピの情報誌作成・配布	← 実施 →			—	◎	◎	○ (経)
③栗国島の食材を使った料理講習会及びイベントの開催	民宿・食堂等を対象に栗国の地産地消にこだわった料理講習会の実施	← 実施 →			—	◎	◎	—
	食の魅力発信のためのイベントの開催の検討	← 検討 →		← 開催 →	—	◇	◎	◎ (経)

施策内容	取り組む時期 (平成 24～33 年度)			取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う				
	今すぐ(1~2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの	村民	事業者	観光協会	栗国村	
<b>2-3 特産品等の栗国ブランドを研究・開発し、島外への普及を図る</b>								
①現在の特産品の強化	現特産品の販売促進 (ソテツみそ、黒糖、栗国の塩、もちきびかりんとう等)	← 実施 →   ← 継続 →			—	◎	○	○ (経)
	観光メニューへの活用や料理食の活用検討(料理体験教室や黒糖を使った漬物の提供等)	← 実施 →			—	◎	○	○ (経)
②栗国ブランドとなる新たな特産品や土産品等の商品開発	島の資源を原料とした付加価値の高い特産品や土産品等の新たな商品開発の推進 (栗国の泡盛、島の素材や手わざを活かした工艺品等)	← 実施 →			—	◎	○	◎ (経)
③島外への栗国ブランドの普及・啓発	島外イベントに参加した栗国ブランドの普及啓発 (産業まつり、離島フェア、アイランダー等)	← 実施(参加・出店等) →			—	◎	○	◎ (経)
	インターネット市場や栗国出身者ネットワークを活用した販路拡大の支援	← 準備 →   ← 実施 →			—	◎	—	◎ (経)



3. 計画の推進に向けて

3. 会い集う《「ア」のくにづくり》～人と人とのふれあいが感動を生み出す～

施策内容	取り組む時期 (平成 24～33 年度)			取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う			
	今すぐ(1~2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの	村民	事業者	観光協会	栗国村
<b>3-1 ガイドなど観光に関わる人材を確保・育成する</b>							
①有償ガイドの仕組みづくり	村民の観光への意識を高める取り組みの実施	実施 ←-----→	継続 -----→	◇	—	◎	◎ (経)
	有償で人材バンクを活用する仕組みづくり	実施 ←-----→	運用 -----→	—	—	◎	○ (経)
②ガイドやインストラクターの確保・育成	観光ガイドやインストラクターの育成	実施 ←-----→	継続 -----→	—	—	◎	○ (経)
	先進事例研修の実施による観光の質の向上の取り組み	実施 ←-----→	継続 -----→	—	—	◎	○ (経)
<b>3-2 地域住民との交流機会を創出する</b>							
①地域特性を活かした島内外の交流イベントの開催・促進	文化交流イベントの実施	実施 ←-----→	継続 -----→	◇	◇	○	◎
	スポーツ交流大会の実施	準備 -----→	実施 ←-----→	◇	◇	○	◎
	参加プログラムのある祭り・イベントの企画・実施	実施 ←-----→	継続 -----→	◇	◇	○	◎
	県内小学生を対象とした修学旅行やセカンドスクールの誘致	実施 ←-----→		—	○	◎	◎
②ふれあい交流空間の創出	ふれあい交流の場となる交流カフェ等の創出		準備 -----→	実施 ←-----→	—	◎	○
	パークゴルフ場整備の推進	実施 ←-----→	運用・管理 -----→	—	—	○	◎
	マハナー帯の自然保護と活用の検討	準備 -----→	実施 ←-----→	—	—	◇	◎ (経)

3. 計画の推進に向けて

施策内容	取り組む時期 (平成 24～33 年度)			取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う					
	今すぐ(1~2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの	村民	事業者	観光協会	栗国村		
<b>3-3 島のルールをつくる（「島の主（あるじ）である住民」と「客である来島者」との良い関係づくり）</b>									
①村全体で迎えるホスピタリティ（おもてなし）の向上	あいさつ運動・美化活動・清掃活動の充実	← 実施 →		◎	◎	◎	○		
	観光関係者等への接客接遇マナー講座の実施	← 実施 →		—	◇	◎	○ (経)		
②「栗国村・旅の心得」（仮称）の作成・普及	村民の意向を反映したルールづくり	← 準備 →	← 実施 →	◇	◇	○	◎		
	ルール普及の取り組み					← 実施 →	◇	◇	◎



3. 計画の推進に向けて

4. 編み結ぶ 《「ア」のくにづくり》～島外・島内とのネットワークを強める～

施策内容		取り組む時期 (平成 24～33 年度)			取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う			
		今すぐ(1~2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの	村民	事業者	観光協会	栗国村
<b>4-1 観光関連インフォメーションを充実する</b>								
①リアルタイムな島の活動等の情報発信	既存システム等を活用した村内外への情報発信	村HP・facebook	観光協会HPの充実	観光協会HPの充実	◇	◇	◎	◎
		←	→	←				
②わかりやすい観光案内地図の作成やサイン整備の充実	観光案内地図の作成	1枚でみることができる	随時更新	随時更新	—	—	◎	◇(経)
		←	→	←				
	観光案内サイン等の整備		実施	点検・改善	—	—	○	◎
			←	→				
③ゆったり島時間等の栗国の魅力を伝える誘客活動の促進	県内外への誘客活動	準備	誘客活動の実施	拡充	—	◇	◎	◇
		←	→	←				
	栗国アンテナショップづくりや本土旅行業社へのキャラバン活動		企画・立案	実施	—	◇	◎	○
			←	→				
<b>4-2 リピーターや栗国ファンクラブを増やす</b>								
①リピーターの確保	来訪者アンケート調査(満足度)等の結果を活かした来訪者ニーズにこたえる取り組み	(再掲)	来訪者アンケート調査の実施	来訪者アンケート調査の実施	—	◇	◎	◇
			←	→				
	来訪者アンケート調査(満足度)等の結果を活かした参加・体験メニューの改善・充実(自然・歴史・文化・地元との交流)等	(複数施策と重複)	来訪者アンケート調査の実施	来訪者アンケート調査の実施	◇	◇	◎	◇
			←	→				
②栗国ファンクラブづくり	モデルツアーの実施機会やIT技術を活用した情報発信による栗国ファンクラブづくりの取り組み	準備	実施・点検	拡充	◇	◇	◎	○
		←	→	←				
	郷友会や沖縄県人会のネットワークを活用した情報発信	準備	実施	拡充	◇	◇	◎	◎
		←	→	←				
③近隣市町村等との連携・協力による共同事業等の推進	近隣市町村との連携・共同事業等の推進	実施	強化・拡充	強化・拡充	—	—	○	◎
		←	→	←				
	那覇等の拠点における観光情報発信の充実		実施	強化・拡充	—	○	◎	◎
			←	→				



施策内容	取り組む時期 (平成 24～33 年度)			取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う			
	今すぐ(1~2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの	村民	事業者	観光協会	栗国村
<b>4-3 交通条件の向上を図る</b>							
①海路交通の 利便性の向上	乗船客データの集計・分析	実施 (毎年)	継 続	—	—	○	◎ (船)
	フェリー内の観光情報の充実 (ポスター・パンフレット、 船内放送・放映等)	実施	継 続 (点検・改善)	—	—	○	◎ (船)
	フェリーの運航予定及び状況 の情報発信	(再掲) (運用・点検、改善・拡充等)	HP とのリンク、防災無線 システムの活用	◇	◇	◎	◎
②空路交通の 利便性の向上	栗国空港の拡張整備及び増便 等による利用枠の拡大	増便等による利用枠の拡大 空港拡張整備		—	—	—	◎ (経)
	飛行予定及び状況の情報発信	(再掲) (運用・点検、改善・拡充等)	HP とのリンク、防災無線 システムの活用	◇	◇	◎	◎
③陸路交通の 利便性の向上	集落内外の道路整備		実 施	—	—	—	◎ (経)
	島内交通手段の検討	乗合バス導入 の検討・調整	ゆったり島時間を満喫できる 移動手段の検討	—	◇	◎	○ (経)



3. 計画の推進に向けて

5. 開け拓く《「ア」のくにづくり》～持続的・発展的なしくみを構築する～

施策内容		取り組む時期 (平成 24～33 年度)			取り組みの主体等 ◎中心的に担う、○サブ的に担う、◇ともに担う			
		今すぐ(1~2年) 取り組むもの	5年以内に 取り組むもの	10年以内に 取り組むもの	村民	事業者	観光協会	栗国村
<b>5-1 観光協会の充実を図る</b>								
① 観光協会の 組織強化及 び事業活動 の充実	観光協会スタッフの確保促進	← 実施 →	← 継 続 →		—	—	◎	◎ (経)
	観光協会と関係機関（県観光 コンベンションビューロー 等）との連絡調整の充実	← 実 施 →			—	—	◎	◇ (経)
	観光客へのサービスや観光プ ロモーション活動等、観光協 会の事業活動の充実促進	← 準備 →	← 実 施 →		—	○	◎	○ (経)
② 観光協会の 運営支援	観光協会の安定的な運営の支 援	← 実 施 →			—	◇	◇	◎ (経)
	収益事業（会員増強、観光関 連施設等の運営、協賛事業、 入島協力金等）の拡充促進	← 実 施 →			—	○	◎	○ (経)
③ 人材バンク の創設	主婦や高齢者等をネットワ ークした人材バンク創設	← 実施 →	← 継 続 →		◇	—	◎	○ (経)
<b>5-2 Uターン・Iターン等の受入条件を整備する</b>								
① Uターン・ Iターン等 の受入条件 の整備	観光に従事する人材を受け入 れるための相談窓口の設置 等、行政支援の検討と実施		← 検 討 →	← 実 施 →	—	—	○	◎ (総・ 経)
	空き家・村営住宅の活用		← 実 施 →		◇	◇	○	◎
<b>5-3 6次産業間で連携する観光産業の育成</b>								
① 6次産業間 で連携する 観光産業の 育成	農業・漁業の体験交流活動の 展開を目指した観光産業の育 成	← 準備 →	← 実 施 →		—	◎	○	◎ (経)
	飲食店や宿泊施設等、観光サ ービス業の創出	← 実 施 →			—	◎	○	○ (経)
	農家民泊などによる宿泊機能 の拡充		← 準備 →	← 実 施 →	—	◎	○	○ (経)

## (2) 観光振興の推進体制

### 1) 栗国村の観光振興における推進主体の主な役割

本村の観光振興の推進にあたって、村民、事業者、観光協会、栗国村（行政）等が栗国観光の方向性を共有し、その実現に向けて協働した取り組みが大切となります。着実に観光振興を進めていくためにも、それぞれの役割を担い、責任を持ち、ともに力を合わせ、ともに汗をかき、相互に連携しながら、観光振興を進めていく必要があります。

以下に主な役割を示します。

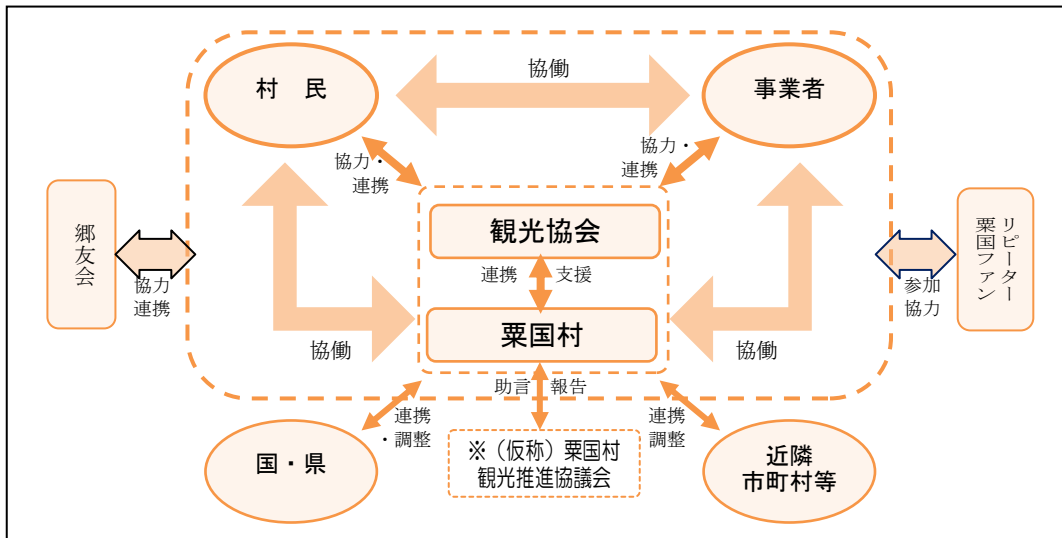
推進主体	主な役割
<p><b>村民</b></p> <p>〔 村民、子どもたち 地域（字、原・組） 地域活動関連団体： 子ども会、PTA、女性 連合会、青年会、老人ク ラブ など 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○村民は島の魅力を理解し、本村の魅力を支える真の主人公であり、来島者との地域交流に自発的に関わる。</li> <li>○島の魅力につながる地域学習や美化活動、風景づくり活動等に積極的に参加し、地域づくりやむらづくりなど、栗国の魅力向上に主体的に取り組む。</li> <li>○栗国観光の推進にあたっては、村民一人ひとりが来訪者を温かく迎えられるよう、あいさつ運動や美化活動等に取り組み、もてなし力の向上を図る。</li> </ul>
<p><b>事業者</b></p> <p>〔 観光関連： 民宿、ダイビングショッ プ、食堂・カラオケ店等 経済活動関連団体： 生活研究会、塩工場、 JA栗国、漁業組合、農 業者・漁業者 など 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光関連事業者は、相互の連携を密にし、島のイメージアップに努めるとともに、来訪者と最前線で接するという認識を持ち、来訪者に対するもてなしの心を育む人材の確保・育成を進める。</li> <li>○観光関連事業者等は観光が本村の様々な産業に経済効果をもたらすことが期待されていることから、観光協会を中心により一層の連携強化を図る。</li> <li>○製造施設見学や農業体験等による企業や島の産業の知名度の向上を図るとともに、情報の共有化による広報宣伝効果や農畜水産業と連携した特産品開発等により、知名度の向上を図る。</li> </ul>
<p><b>観光協会</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光協会は栗国観光を推進する中核的存在として役割を發揮するため、組織体制の充実強化を図る。</li> <li>○観光関連事業者等との連携を強化し、観光関連事業者等の接遇やサービスの向上を図る。</li> <li>○栗国観光を推進するにあたっては、具体的戦略に積極的に関与し、観光情報の提供や誘客促進のためのPR活動等、観光振興事業を積極的に展開する。</li> </ul>
<p><b>栗国村</b></p> <p>〔 経済課、総務課、船舶課、 民生課、教育委員会など 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○栗国村は、村民、観光関連事業者、観光関連団体、観光協会と連携を十分に取りながら、本計画に基づく観光振興施策を推進する。</li> <li>○観光振興に必要な人材育成や財源確保に力を注ぎ、それぞれの主体が自主的に取り組む観光振興事業への支援と調整に努める。</li> <li>○国や県、他市町村との連絡調整を図るとともに、近隣市町村等と連携した長期的な視点をもった広域観光を推進する。</li> </ul>

### 3. 計画の推進に向けて

## 2) 観光振興の推進体制

本村の観光振興を推進していくためには、それぞれの役割を果たすとともにしっかりと連携体制を構築していくことが必要です。それぞれの主な役割は前頁で示したとおりであり、なかでも観光振興の中核を担うのは観光協会です。しかしながら、観光協会は設立から間もないこと等もあるため、当面においては村（行政）や事業所、村民等が観光協会との協働による取り組みを推進していく必要があります。以下に協働による観光振興の推進体制を示します。

### ■協働による観光振興の推進体制図

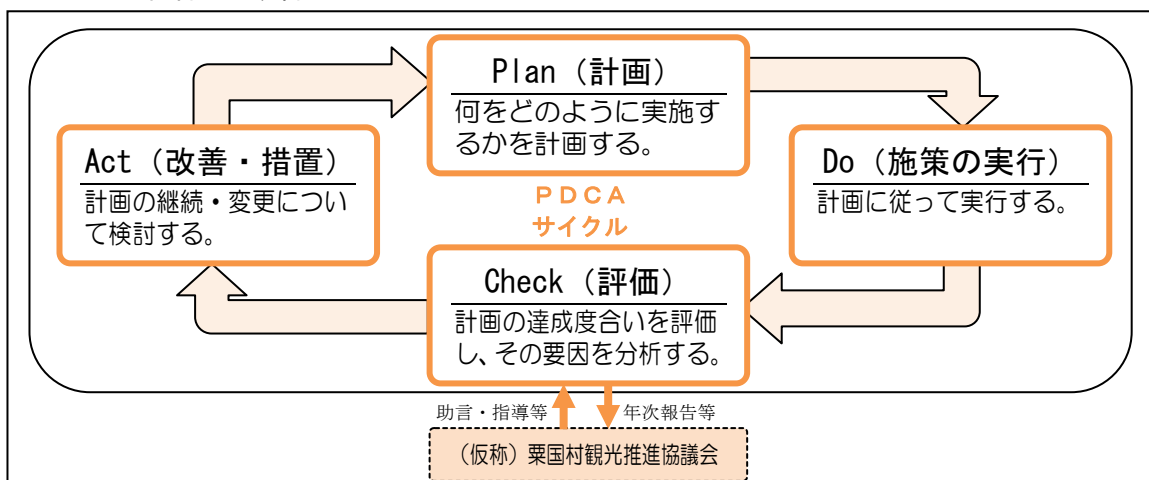


※計画の進捗状況の点検・評価を行う「(仮称)栗国村観光推進協議会」を新たに設置する

## 3) 計画の進行管理

本計画に基づく観光施策を着実に実現していくため、庁内関係課や観光協会、関係団体、外部の有識者やアドバイザー等で構成する「(仮称)栗国村観光推進協議会」を設置し、計画の進捗状況の点検・評価を毎年度に実施します。また、本計画で位置づけた取り組み状況や問題点等を把握し、継続的な改善を図るため、PDCAサイクル\*による計画の進行管理を行います。

### ■計画の進行管理・改善のPDCAのサイクル



※PDCAサイクルとは、計画(Plan)を実行(Do)し、取り組みの点検や評価(Check)し、改善(Act)を継続的に  
行う管理システムのことである。